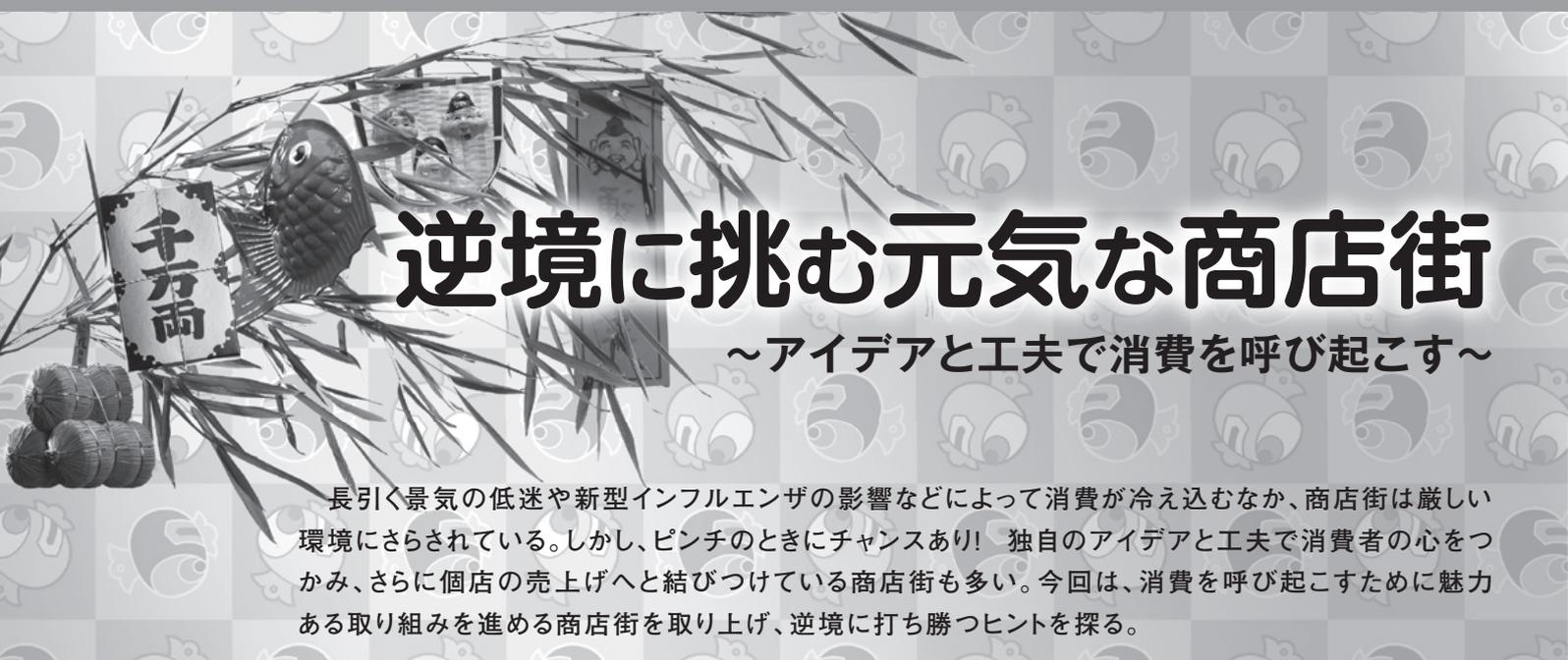


はいんえい

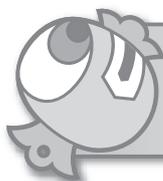
編集発行 京都商工会議所中小企業経営相談センター
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル TEL 075-212-6467



逆境に挑む元気な商店街

～アイデアと工夫で消費を呼び起こす～

長引く景気の低迷や新型インフルエンザの影響などによって消費が冷え込むなか、商店街は厳しい環境にさらされている。しかし、ピンチのときにチャンスあり！独自のアイデアと工夫で消費者の心をつかみ、さらに個店の売上げへと結びつけている商店街も多い。今回は、消費を呼び起こすために魅力ある取り組みを進める商店街を取り上げ、逆境に打ち勝つヒントを探る。



山科地域商業ビジョン 推進委員会

団体名 山科地域商業ビジョン推進委員会
所在地 京都市山科区御陵大津畑町32
TEL 075-581-0130(リカーコレクション龍野)
URL <http://www.yamasina-sanjo.shoutengai.net/>
委員長 龍野 英次(山科三条商店会 会長)

●構成
山科三条商店会、山科商栄会、山科
京極会、山科商店会など地域の商
店会をはじめ、商業施設・団体、交通
機関、金融機関等で構成

「あれ、何?」の話題「くわくわく」の関心を高める

「最初は、ちょっととした思いつきだったんです」。そう話すのは、龍野英次委員長。昨春秋、山科地域の商店街を何とかして盛り上げられないかと、特産品の山科なすをモチーフにしたキャラクター「もてなすくん」を考案。バルーンにして山科駅前飾ったところ、買い物客や通勤客から「あれ、何?」と注目を集めるようになった。インターネットなどで噂が広がり、新聞・テレビで紹介されるほどに。「商店街が面白そうなことをやっている…」と関心が高まり、いろんな人たちが協力してくるようになりました。地元町内会の女性会が製作したもてなすくんストラップやちりめんの置物を売り出したり、洋菓子店が山科なすを使ったサブレを開発するなど、もてなすくんというゆるキャラを中心に、商店街活性化の機運は高まりつつある。今年度は、山科全域の商店街・個店の軒先に四千個のもてなすくんバルーンを飾ってもらう予定で、「地域のイメージキャラクターにしたい!」と意気込む。



ゆるキャラ人気を
商店街の魅力創生に生かす



膨らんでいる。

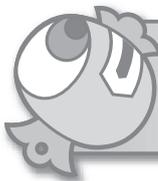
膨らんでい

宝探しのワクワク感が
消費者の購買意欲をくすぐる

十月中旬から来年三月末まで、山科全域を対象に『もてなすくん大作戦!!』と銘打った取り組みを行っている。「ゆるキャラ人気を集客に結びつける試み」と龍野さん。期間中、まつ毛やベロを出した姿の「おちゃめなもてなすくん」を飾るお店を見つけたら、独自のサービスが受けられる(もてなすくん)の合言葉が必要。ボトルワイン割引きや居酒屋でのビールおつまみ半額セールなど購買意欲をくすぐる特典が満載だ。もてなすくんの中には、頬にハートマークのついたプレミアキャラが隠されており、もてなすくんのストラップを持っている人が見つけた場合にはバルーン人形がもらえる遊び心たっぷりの仕掛けも用意。宝探しのような感覚で買い物を楽しむ客も少なくない。「あんなところに、こんな店が…」という新たな発見にもつながっている。

最近では、銀行や学習塾など小売店以外からも、「もてなすくんを飾りたい」という申し出も増えてきた。「京都観光の帰りに、ちよつと山科に立ち寄り…」と思

つてもらえるよ
うな商店街つ
くりをしたい
ですね。龍野
さんの夢はま
ます大きく



嵯峨嵐山地域商業ビジョン 策定委員会

団体名 嵯峨嵐山地域商業ビジョン策定委員会
所在地 京都市右京区嵯峨天龍寺町9-5
TEL 075-881-1187(花芳南)
URL <http://sagarashiyama.web.fc2.com/>
委員長 山本 芳男(嵯峨商店街 会長)

●構成
嵯峨商店街、嵐山商店街など地域の商店街をはじめ、商業団体、社寺仏閣、交通機関、金融機関、観光関係企業、住民等で構成

地域ブランドに「おもてなし」の心を加えて「おいでやす!」



月見船の運航で平安の雅を大堰川に再現

毎年、数多くの観光客が訪れる嵯峨嵐山地域。だが、「新型インフルエンザなどの影響が懸念される中、商店街の枠組みを超えた新たな魅力の創出が求められています」と山本芳男委員長は話す。今年九月十一日から十月二十五日にかけて開催した『おいでやす嵯峨嵐山キャンペーン』は、エリア内にある嵐山商店街や嵯峨商店街など五つの商店街・商店会の協力で実現したものだ。企画は、若手メンバーが中心となり「地域に埋もれた付加価値を発信しようと考えた」という。

そのメイン企画の一つが、十月三日、四日の中秋の名月に行われた「お月見会」。平安時代、亀山上皇が「くまなき月の渡るに似る」と詠んだ渡月橋にちなんで、優雅な屋形船クルーズを楽しんでもらった。先着五百名限定の定員が、あつという間に埋まるほどの人気だったという。また、キャンペーンに合わせて、JR嵯峨嵐山駅前と阪急嵐山駅前、地元商店などによる採れたて野菜の販売や手作り市を開催。観光客

だけでなく、近隣に住む買い物客もたくさん訪れたといい、「地域の顧客に対するアピールにもなりました」と笑顔を見せる。

商店街の枠組みを超えた地域二体型の集客モデル

「過性のイベントで終わらせるのではなく、消費の呼び起こしにつなげていきたい」と野田博副委員長。キャンペーンには七十二店舗が参加。パンフレットやインターネットから入手できるクーポン券を提示すれば、割引やプレゼント進呈などの優待が受けられる。有名な観光スポットや飲食店、みやげ店などさまざまな店舗でサービスが受けられるのが魅力で、クーポン片手に嵯峨嵐山めぐりを楽しむ観光客、修学旅行生の姿も多く見られたという。

「嵯峨嵐山は一つという思いを持っています」と野田さん。今年九月には五つの商店街・商店会のオリジナル提灯を制作し、店頭に掲げて統一感を演出している。また、「嵯峨嵐山百選」の選定を通して、地域の心に残る風景や名物を掘り起こして発信するなど、ブランド力を生かした取り組みにも積極的だ。地域二体型の集客モデルは、これからの商店街の方向性を示す試金石となるだろう。



ド力を生かした取り組みにも積極的だ。地域二体型の集客モデルは、これからの商店街の方向性を示す試金石となるだろう。



龍馬通り商店街

団体名 龍馬通り商店街振興組合
所在地 京都市伏見区堀屋町242
TEL 075-621-3403(株ふじわらや)
URL <http://www.ryoma-dori.com/>
理事長 藤原 清和

「いつも何か面白いことをやっているな...」と思ってもらえるような商店街でありたい」と話すのは藤原清和理事長。幕末のヒーロー・坂本龍馬が駆け抜けた「幕末維新回廊」というキャッチフレーズで、地域の歴史文化を生かした取り組みを進めている。その一つが、毎年、龍馬の生誕日(十一月十五日)前



お客様の好奇心を刺激する「お楽しみ」が満載

後の日曜日に開催している「龍馬祭」。幕末の志士に扮した仮装行列や吹奏楽の演奏、ダンスによるパフォーマンスなどが披露され、商店街は二万人以上が見物客であふれかえるという。「商店街の楽しみを買い物につなげる工夫を行っています」。各店舗を回ってスタンプを集めると、卵のパックやティッシュボックスがお買い得になるスタンプリーは、店頭に行列ができるほどの賑わいだという。また、豪華賞品が当たるガラガラ抽選会(割引・二割引は当たり前)のセールなど、何度訪れても飽きさせない「ワクワク感」が人気を呼んでいる。「商店街に魅力がないと人は集まらない。これからも、お客様の好奇心を刺激していきたい」と意気込みを示す。



紫明商店街

団体名 紫明商店街振興組合
所在地 京都市北区小山東大野町44
TEL 075-451-4126(山本置室内装飾店)
URL <http://www.kics.gr.jp/kita/sime/>
理事長 山本 正彦



「お得感」の提供で地域客の掘り起こし

かつて紫明商店街には、食品店や書店、生花店など、暮らしに密着した店舗が軒を連ねていたが、今では病院や学習塾など、小売以外の店も増え、お客様の顔ぶれは様変わりしつつある。「もっと地域客を掘り起こしたい...」。そんな思いで始まったのが、この十一月で二百六十回目を迎える月末二日間限定の大売出し。二年前から近隣の商店会を巻き込み、さらに規模を広げて開催している。期間中、セール商品やお買い得商品がずらりと並ぶほか、三店舗回れば百円券や抽選券がもらえるというサービスも好評で、「大売出しの日を待って、買い物に訪れる地元客も多い」と佐川忠光副理事長。今年十月二十六・二十七、商店街の設立二十二周年記念に合わせて企画した特別大売出し(京都知恵と力の博覧会協賛事業)では、二千五百円で三千円分の買い物ができるプレミアム商品券を発行。発売と同時に売り切れるほどの人気ぶりだった。「消費者はお得情報に敏感。セールに足を運んでもらって、商店街の魅力に気づいてほしい」と話す。



TOPICS! **500円** 市内商店街、小売市場等が参加!
きょうを楽しく きょうが買い時!!
おこしやす京の年の瀬トリプルキャンペーン

今年12月5日～20日、京都市内の商店街など約70団体の参加による販促キャンペーンが行われる。「きょうを楽しく、きょうが買い時!!」を合言葉に、期間中、各参加店舗で500円以上の買い物をすれば、スクラッチカードを1枚進呈。当たりが出れば、その場で商店街などが用意した景品がもらえる。また、カードに記入された番号をもとに、環境に配慮したり地域資源を活用した豪華景品が当たる抽選会も実施。顧客の消費意欲を喚起し、商店街や小売店の活性化につながる事が期待される。全市的な販促キャンペーンは今回が初めてで、スクラッチカードの発行枚数は200万枚を予定。10億円以上の経済効果を見込んでいる。期間中は、地域資源を生かした多彩なイベントが各商店街で開催される。

実施期間:12月5日(土)～12月20日(日)
 実施場所:キャンペーンに参加する市内の商店街、小売市場等
 概要:スクラッチカードの配付

(1) スクラッチチャンス

期間中、市内商店街等の参加店舗において、500円以上お買い上げの方にスクラッチカードを配付。当たりができれば、各商店街等が独自に準備する景品等を贈呈。

(2) ダブルチャンス

日本マクドナルド(株)の協賛により、スクラッチカードの半券5枚でハンバーガーを1個贈呈。

(3) トリプルチャンス

スクラッチカードの番号による抽選で、景品が当たる。景品には、京都の地域資源を生かしたものや環境に配慮したものを用意。

■実施主体 全市統一販売促進事業実行委員会
 【構成団体】 京都商店連盟、京都商工会議所、京都小売市場連合会、京都市、(財)京都高度技術研究所

今熊野商店街

団体名 今熊野商店街振興組合
 所在地 京都市東山区今熊野柳ノ森町41-12
 TEL 075-525-4372
 URL http://www.imagumano.com/
 理事長 田中 満

コミュニティセンターを核に商店街のファンづくり

今年九月、商店街にコミュニティセンターを開設したのをきっかけに、京都市から委託されている地域介護予防推進センターと共同で、週二回、高齢者向けの体操教室を開催している。毎回二十名ほどの参加があるそうで、身体を動かすついでに買い物物を済ませて帰る人も多い。「住民の高齢化が進んでいるが、きめ細かなサービス提供で顧客満足度を高めたい」と田中武章副理事長。来年度以降、地元大学と社会福祉協議会などの協力を得て、高齢者の買い物サポートなども企画しているという、これまで「重い荷物を持ってない」と買い物物を躊躇していた地元客にも足を運んでもらえると期待を寄せている。「地域に密着した取り組みで、

商店街のファンを増やしていく」と高垣慶嗣副理事長。今年十二月七日から十二日にかけて



予定している歳末大売出し(京都知恵と力の博覧会協賛事業)では、ポイントカード(くまさんカード)の倍押しセールや買い物券のプレゼントなど魅力的なサービスを行って、高齢者だけでなく新規顧客の掘り起こしに力を注ぐ。東山界隈には有名なスポットも多く、観光客の誘致も期待できるところ。夢は大きく広がっている。



**今こそ原点回帰!
 商店街の存在価値が問われている**

まずは、原点に立ち返ること。今回の結論は、この二言に尽きると思う。地域の魅力を生かしたイベントやキャラクターづくり、大売出しや抽選会…。各商店街では意を凝らした集客努力が行われているが、いくら人が集まってもお客様が店の前を素通りしてしまつては意味がない。賑わいを「消費」や各店舗の「売上」に結びつけるためには、果たして何が必要なのだろうか?

さらされている。大型量販店やディスカウ
 ントショップ、あるいはインターネットで
 お目当ての品がすぐに手に入る時代、商店街がそこに存在し続ける意義とは何
 だろうか? 竜馬通り商店街の藤原理事長は
 「お客様との距離が近いこと。一体感と親
 近感」と言い、今熊野商店街の高垣副理事
 長は「地域に密着した商品サービス情報
 の提供と答えた。地域の傍に寄り添うよ
 うにあって、顧客満足度を高め、消費意欲を
 満たす…。そのために、商店街は地域のニ
 ーズや価値を知る努力をしなければなら
 ないと思う。上記のようなイベントやセー
 ルも、ただ安いだけ、面白いだけでは、お
 客様の心に響かない。商店街に足を運ん
 だお客様が「面白いね」「こんな魅力があっ
 たんだ!」と感じるようなモノ・コトを発
 信し、商店街そのものの存在価値を高め
 ていくこと。これは地域とともに発展して
 きた商店街が、これまで当たり前のように
 取り組んできたことなのだと思う。

効果は高かっただろう。イベントやセール
 は古くから行われている手法だが、アイデ
 アと工夫次第で消費は呼び起こせる。
 確かに今、商店街は厳しい市場競争に

変化を好む世の中にあつて、原点に立ち
 返ることは容易でないかもしれない。だが、
 その「本質」にこそ、求める答えは埋もれ
 ているはずだ。

本部

京都府理容生活衛生同業組合

理容技術の祭典！
秋の京都で日頃磨いた技能を競う

京都府理容生活衛生同業組合（福田秋朝理事長）では、十月十九日（月）に京都で開催された第六十二回全国理容競技大会（主催 全国理容生活衛生同業組合連合会）に際して、開催地として大会実行委員会を組織し、大会の企画・運営に協力した。

同大会は理容師法が施行された昭和二十三年に第回大会が開催されて以来、半世紀以上にわたる歴史と伝統を有している。理容業の振興と理容技術の向上を目指す業界最大のイベントで、全国から選ばれた理容師が日頃の修練と熱意によって磨き上げられた技能を発表し競い合う、まさに「理容技術の祭典」。京都における開催は昭和三十一年以来五十二年ぶり。

「古都に羽ばたく匠の夢」をテーマに開催された大会当日は、穏やかな秋空に恵まれた京都市勧業館「みやこめっせ」を会場に、全国の予選を勝ち抜いた二百五十四人の理容師が「クラシカルカット・イブニングスタイル」「レディスカット・モードスタイル」「3A tation」「トレンディー・ショートスタイル」の各部門で競った。また、会場では、「理容師二〇〇九メッセージ全国大会」も行われ、全国八プロックから選ばれた各代表が、自身の理容師としての体験や考えをもとに、やる気と勇気と元気に満ち溢れたメッセージを発信した。

同組合の福田理事長は、「全国から多数の応援も来場し、大成功の大会だった。これを組合活性化の起爆剤にしたい」と話している。



洛南支部

納屋町商店街振興組合

納屋町商店街生誕百周年
―市民とともに記念イベント―



伏見区の納屋町商店街振興組合（石本正宣理事長）では、本年商店街生誕百周年を迎え、九月から十二月にかけて百周年記念イベントを実施。「ハッサージュなやまち5番街」の愛称で二層市民に愛される商店街をめざしている。

同商店街は、一九〇九年（明治四十二年）、「納屋町進商會」として発足し、一九六三年に振興組合を設立。平成八年にガレリア風の独特のアーケードやカラー舗装を完成し、その後も「コミュニティホール、ポイントシールなどの事業を展開してきた。また伏見桃山地域七商店街の「夏の夜市」や「伏見夢工房」の各種事業に積極的に参画している。

今回の生誕百周年記念イベントは、「京都知恵と力の博覧会」の参画事業として、「納屋町お買物券」の販売やポイントシールの二倍セール、盛り沢山のポイントシール交換イベントや「ジャンケン大会」を開催。また「おだいでこ講座」として市民対象に「なやまち店主による豆知識講座」や「伏見百年の歴史講座」、健康教室・健康診断も開催し、これらに多くの市民の参加を得ている。

伏見商店街連盟の会長もつとめる石本理事長は、「今回百周年を迎えることができた。時が流れ、業種業態が変われども、二十世紀に向け商店街が残せるように頑張っていきたい」と語り、組合員が「丸となって今後の発展をめざしている。」

洛西支部

高雄保勝会

日本有数の紅葉の名所に
初秋の訪れを告げる灯ろうの光

京都・高雄では、弘法大師空海の神護寺入山千二百年を記念して「弘法大師空海入山千二百年紀」神護寺境内ライトアップ&夜間特別拝観」（高雄保勝会、空海入山千二百年紀実行委員会主催）を十月二日（木）から十二月六日（日）まで開催している。

初日の十月二日には、神護寺金堂にて開眼法要が営まれ、翌二日には、谷口住職による記念法話「神護寺の始まりと弘法大師について」が行われた。また、谷口住職と親交の深い大蔵流狂言師茂山七五三氏を招いて二日間に狂言が奉納された。十一月一日（日）〜十五日（日）までは「大師堂の特別公開」（神護寺主催）、また十一月一日（日）〜三十日（月）までは、「参道ライトアップ」並びに「金堂夜間拝観」（拝観料必要）が開催されている。期間中、神護寺に続く石段や参道に木製や竹製の灯ろうが立ち並び、観光客の足を淡い光で照らすほか、地元小学生の作品による「児童画照明」も目を楽ませる。金曜日と土曜日には地元高雄中学校の生徒による和太鼓演奏が実演されるなど、多彩な催しも行われる。

平成十七年から続く「参道ライトアップ」も今回で五年目。弘法大師空海入山千二百年を記念する多彩な行事の影響もあって、例年以上の観光客が訪れている。

洛央支部

山科区地域経済懇話会

地域資源を生かして
まちの活性化を推進する

本所は山科区のまちづくりの推進、地域経済の活性化を図ることを目的に、九月二十八日（月）、山科区地域経済懇話会（福田誠治会長）を開催した。当日は、福田会長をはじめ、山科区所在の地域活性化推進委員、事業者、学識者、市役所幹部と事務局の十五名が出席し、今年度の活性化事業である「第二回やましな駅前陶灯路」と「もてなすくん大作戦」、「新山科ブランド」の各事業について担当者から報告を受けた。また、今後の地域活性化策について議論した。

活性化事業のひとつである「第二回やましな駅前陶灯路」は、清水焼団地協同組合や京都シティ開発、京都橋大学等が「やましな駅前陶灯路実行委員会」を組織し、山科駅周辺の賑わいの演出による活性化と清水焼のイメージアップを目的に昨年から開催している。



今年十月十七日（土）に山科駅前からラクト山科公園、駅前の商店街一帯を会場に開催。清水焼等の器に水を張り、その上を流るうそくを浮かべた千五百九基の灯りが山科駅前一帯を幻想的に染めるなか、市民や観光客が夜の散策を楽しんだ。ラクト山科公園ではオカリナやフルート等の演奏も行われた。

洛北支部

新大宮商店街振興組合

「笑顔あふれる商店街」
第七回そらたね祭

新大宮商店街振興組合（金藤利治理事長）では、十月十日（土）、「第七回そらたね祭」を開催した。

「そらたね」とは、さまざまな人が持っている可能性の種を表す。小さな種が空に向かって成長するように、一人ひとり小さくても様々な可能性を持っている。その可能性を表現する場をつくりたいという想いから企画された「そらたね祭」は、地域の大学生や商店街メンバーと有志がつくり上げていく祭で、今年準備期間・当日の出演者も含め総勢二百五十名のスタッフで実施した。



当日は、短時間の雨にみまわれたものの概ね晴天となり、大学生や子どもたちが商店街を練り歩く「そらたねパレード」から始まって、商店街にある「唯明寺」を中心とした商店街全域で音楽・漫才・和太鼓などのライブを行った。また今年の目玉企画展となる青空笑顔展やカフェ、子どもコーナーなどが設置され、朝十時から夜八時まで盛りだくさんの内容で老若男女問わず大勢の人で賑わった。

同祭実行委員会の片桐直哉事務局長は「和太鼓を子どもたちに教えていた大学生が、唯明寺の境内を借りて発表会を行ったのがお祭のはじまり」と話し、「商店街や地域の協力を得て、第七回を迎える今回も開催することができた」「来年以降もより盛大に充実した内容で開催したいので、皆さん是非遊びに来てください」と意気込みを語った。

本部

三条名店街商店街振興組合

新鮮な野菜や
特産品で「にぎわい市」



三条名店街商店街振興組合（大西庄兵衛理事長）では、都市部と農村部の交流を図る機会として、京都府美山町の農業者グループと共同し、美山の新鮮な野菜や特産品を安価で販売する「にぎわい市」を企画し、九月十五日（火）、商店街内に特設ワゴンを設置して初めて開催した。

当日は、販売を待ちわびる地域住民や商店街の買い物客らが列を作り、正午からの予定を一時間繰り上げて販売をスタート。昼過ぎには用意していた多くの商品が売り切れる盛況ぶりだった。九月二十九日（火）には第2回の同市が開催され、商店街で買い物をした人にあらかじめ配布される購入補助券の「野菜券」を手に入れている人も多く見受けられるなど、初回にも増して賑わいを見せた。

企画・運営にあたった同商店街の西村莊事務理事は「三条名店街の新たな魅力づくりとして定着させるとともに、これをきっかけとして自然豊かな美山町との交流の充実にもつなげていきたい」と語る。継続して取り組んでいく予定で、今年度は、月に二～三回を目途に開催していく。

「知恵の経営」推進セミナー（実践編）

「知恵の経営報告書」作成へ一歩踏み出す



自社の無形の「強み」を洗い出し、今後の経営に活かしていく「知恵の経営報告書」の作成を目指して、十月七日、十四日、二十一日の三日にわたり少人数制セミナーを開催し、十三社が参加した。当日は、(社)中小企業診断協会京都支部に所属する講師陣の指導のもと、「自社の知恵は何か」「過去・現在の間、どのように知恵が蓄積され、活用されてきたか」といったポイントを、すでに認証を取得している企業の報告書などを参照しながら、シートに記入する

形式で確認。報告書の骨格部分を経営支援員や専門家とともに作成した。参加者からは、「自社のことを振り返るよい機会になった」「今後、知恵の経営に取り組みたい」といった声が寄せられた。また、京都府評価委員会での認証を目指して、多くの参加者から今後の個別支援の申込が寄せられた。各企業は現在、経営支援員や専門家とともに「知恵の経営報告書」の作成とそのブラッシュアップに取り組んでいる。

本所では事業承継セミナーを十月二十日（火）に開催し、親族内承継を検討中の企業代表者など六十一名が参加した。講師の大東寝具工業(株)取締役会長大東和子氏からは、急逝した夫から事業を受け継ぎ、時代環境に柔軟に対応しながら長男へ承継した自らの体験を、またコンサルタント代表四條忠博氏からは、事業継続のための「事業の磨き上げ」の考え方と後継者の立場によるメリット・デメリットを紹介した。



第一回事業承継セミナー

求められる「時代に対応した事業運営」

経営革新塾

経営革新計画策定・新事業展開に向けて

本所では、経営革新を目指す経営者や経営幹部を対象に、六回シリーズの「経営革新塾」を開講し、約三十名が参加した。

同塾では、中小企業の存続・成長を目指して、新事業展開や新市場開拓、新商品開発を図っていくために必要とされる経営戦略、組織マネジメント等の知識・ノウハウについて、中小企業診断士の坂田敬三氏の講義やグループワーク等を通じて学習。知識習得と実践に努めた。

い、「これまで手がけた新事業の準備不足が分かった」、「ネットワークの構築に役立つ」といった声が寄せられた。



京都府中小企業経営承継支援事業 中小・小規模企業のための 経営承継相談デスク開設

自社とご自身の10年後、
考えておられますか？
専門家が適切な
アドバイスをいたします。

相談無料
予約なしでも
お気軽にどうぞ。

**秘密
厳守**

場所 京都商工会議所 洛央支部
(京都市中京区烏丸通夷川上ル 地下鉄「丸太町」駅6番出口直結)

開設日時

一般承継相談 毎月第1・3月曜
午後1時~4時(受付は3時30分まで)

M&A・事業譲渡相談 毎月第2月曜
午後1時~4時(受付は3時30分まで)

開設日	担当専門家
12月 7日	弁護士・公認会計士
12月 21日	弁護士・税理士
1月 18日	弁護士・公認会計士
2月 1日	弁護士・税理士
2月 15日	弁護士・公認会計士
3月 1日	弁護士・税理士
3月 15日	弁護士・公認会計士

開設日	担当専門家
12月 14日	M&A専門事業者
2月 8日	M&A専門事業者
3月 8日	M&A専門事業者

※一般承継相談の1月4日、M&A・事業譲渡相談の1月11日は開設いたしません。
※平成22年3月まで。
※順番をお待ちいただく場合がございますので、ご予約いただくをお勧めします。
※京都商工会議所では専門家の紹介・斡旋はいたしません。

お問い合わせ 京都商工会議所
中小企業経営相談センター 知恵ビジネス推進室
京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル
TEL.075-212-6470 FAX.075-212-8871



有限会社 洛 楽

多様な価値観に応えられる土産物を提供しています

「めざしているのは、土産物屋の王道なんです」と代表取締役の細川政裕さん。明るくオープンな店内には、「おもちゃ箱をひっくり返した」ように、和テイストあふれる小物や袋物、陶磁器、人形など何でも揃う。



土産物だと、細川さんは言う。「これは、ほんまもんで、すゝと私たちが叫んでも、商品を選ぶのはお客様。で、きるだけ幅広い選択肢を用意して、ニーズに応えるのが役割だと思っています」。

京都随一の景勝地・嵐山には、たくさんの方が訪れる。シニア層や若いカップル、修学旅行生、外国からの観光客…。年齢や性別、好みもさまざま。お客様が必ず最高級・最高品質の土産物を求めているかという点、決してそうではないだろう。「これ、かわいい！」「千円なら買える！」というように、記念品として、あるいは思い出さずして、気に入って買っていただけるものが本当の意味での最高の



細川政裕さん

もの、選んでいただけるものを提供していきたい」。細川さんの言葉から、土産物店の誇りと自信が感じられた。



DATA 観光客が行き交う嵐山商店街の真ん中に位置する土産物店。「身近に置いて使ってもらえる良品」を中心に、数千種類以上のアイテムを揃える。異業種コラボレーションによるオリジナル商品の企画・販売などにも積極的。
京都市右京区嵯峨天龍寺芒の馬場町 3-18 ☎075-864-5130

専門相談のご案内

小規模事業者の皆様の経営上のご相談に各専門家が適切なアドバイスをします。お気軽にご利用ください。

相談無料 秘密厳守

京都商工会議所 中小企業経営相談センター

- 洛央支部 ☎075-212-6460
 - 洛北支部 ☎075-701-0349
 - 洛南支部 ☎075-611-7085
 - 洛西支部 ☎075-314-8771
- お問合せ

相談分野	時間	相談日	相談場所
法律	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(火)	洛央支部
経営	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(水)	洛央支部
税務	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第2・4(木)	洛央支部
		第1・3(月)	洛北支部
		第2・4(火)	洛西支部
雇用・労務	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第2・4(水)	洛南支部
		第1・2・3・4(金)	洛央支部
不動産諸税 資産運用	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第1・3(木)	洛央支部
店舗デザイン	(事前予約制)		洛央支部

店舗デザイン
外装デザイン、看板、ショーウィンドウ、店内スペース、配置計画、商品陳列、照明、色彩、POPと各種表示、その他個店の活力アップの方策など。

経営
財務分析、生産管理、マーケティング、経営革新、情報化など企業経営に関するさまざまな相談。

法律
契約上や取引上のトラブル、売掛金回収、契約違反、金銭貸借、不動産の法律問題。

雇用・労務
雇用に関連する助成金制度の紹介をはじめ、労務管理全般に関するアドバイスなど。

税務
所得税(事業所得、譲渡所得など)、法人税、消費税、事業承継・相続税、贈与税、事業税、固定資産税、確定申告の仕方など。

不動産諸税・資産運用
不動産の売却価額や公的評価を参考に、低金利制度の中で資産価値を高める運用方法など、関連する税制面を踏まえながらアドバイス。



中小企業経営相談センターの ご紹介 あなたの街の本部・支部

上京区・中京区・
下京区・東山区・山科区

「洛央支部」

経営相談や専門相談など、皆様の経営を幅広くサポート!

洛 央支部では、本所の会員、非会員を問わず、小規模・中小企業及び創業予定の皆様の経営に関するさまざまな相談ニーズにお応えしています。



企業経営に関して何かお困りごとがございましたら、経営課題の整理と解決に向けて、身近な支援機関である本所洛央支部までお気軽にご相談いただけますようご案内申し上げます。(相談無料・秘密厳守)

◎経験豊かな経営支援員を九名配置し、窓口の応接ブースや事業所への訪問等による相談対応のほか、必要に応じて外部専門家と経営支援員が連携して皆様の経営を支援します。

◎日本政策金融公庫へのマル経融資の推薦や、いきいき割引等に係る金融相談をはじめ、共済・保険の相談、経営革新等の経営力向上の相談、事業承継や創業の相談等に幅広い支援メニューで対応します。

◎事業に関わる「法律相談」および「税務」「経営」「雇用・労務管理」「不動産諸税・相続対策」「店舗デザイン」について「専門相談」を実施。それぞれ定めた実施曜日に、弁護士、税理士、中小企業診断士等の外部専門家のアドバイスを受けることができます!

その他、経営改善に関する講習会や地域経済活性化に向けた取り組みを積極的に行っています。

お問合せ 本所中小企業経営相談センター 洛央支部 ☎075-212-6460

小規模事業者のための 経営改善資金融資制度 マル経 資金融資

無担保・無保証人・低金利 (手数料無料)
マル経融資が大幅拡充されました!

- 強化1** 融資限度額が1,500万円に引き上げられました
- 強化1** 融資期間が、運転資金7年、設備資金10年に延長されました
- 強化1** 据置期間が、運転資金1年、設備資金2年に延長されました

融資の条件

- 返済は元金均等月賦返済(残債方式で、利息は毎月減額)
 - 信用保証協会による保証も不要
 - 融資限度額の範囲内で、マル経の借替の利用もOK
 - 返済期間は、設備：10年以内 運転：7年以内 (運転資金1年以内、設備資金2年以内の据置も可)
- ※ご相談の内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。



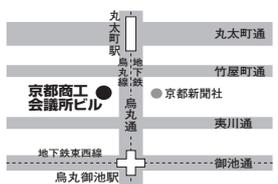
利用の対象

- 従業員数が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の事業者の方 (ただし、法人役員、家族従業員、パートは除く)
- 従前から商工会議所の経営指導を受けている方
- 所得税・法人税・事業税・住民税を完納している方
- 日本政策金融公庫の融資対象業種の方
- 京都市内で、最近1年以上営業している方

融資限度額
1,500万円
(設備・運転を併せた限度額)

金利
1.95%
(平成21年11月13日現在)

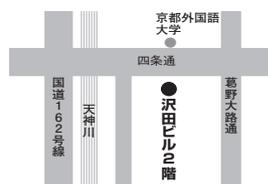
事業所のある行政区の各支部へご相談ください (下記地図参照)



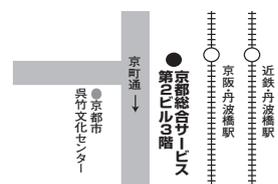
本部・洛央支部 (上京区・中京区・下京区・東山区・山科区)
TEL 075-212-6467・6460
FAX 075-256-9743
中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6階・1階



洛北支部 (北区・左京区)
TEL 075-701-0349
FAX 075-791-8505
左京区下鴨本町12-3 洛北ビル3階



洛西支部 (右京区・西京区)
TEL 075-314-8771
FAX 075-314-8911
右京区西院東貝川町5 四条沢田ビル2階



洛南支部 (伏見区・南区)
TEL 075-611-7085
FAX 075-603-2601
伏見区京町7丁目11 京都総合サービス第2ビル3階